

先週の礼拝メッセージ(2023年4月30日) ベン牧師

「罪を赦されている喜び」 詩篇 32:11

詩篇 32 篇は、ダビデの悔い改めの歌です。彼はウリヤの妻バトシェバと関係を持ち、彼女が妊娠したと知るや、ウリヤを戦争の最前線に送るよう命じ、戦死させ、何食わぬ顔でバトシェバを妻に迎え入れたのでした。彼はうわべは王として宗教行事に出席し、民を正しい道へと指導する責務も担っていました。しかし、自分の犯した罪をひたすら隠し、平静を装っていたのです。しかし、神の前に出て行くたびに、実は彼の良心は痛んでいたのです。

「わたしが沈黙していたときは、一日中、呻き、骨も朽ち果てました。」(3 節)

神様は預言者ナタンを遣わして、ダビデの罪を白日の元にさらしました。ダビデは自らの罪を認め悔い改めました。ここは注目すべき点でしょう。当時、王の立場にある人の罪を公に暴けば、王に反逆したとして殺されても文句は言えません。しかしダビデは違ったのです。

「私はあなたに罪を告げ、過ちを隠しませんでした。私は言いました。『私の背きを主に告白しよう』と。するとあなたは罪の過ちを赦してくださいました。」(5 節)

神は彼の罪を赦してくださったのです。あまりの喜びに 32 篇の始まりは、「幸いな者、背きの罪を赦され、罪を覆われた人。幸いな者、主に過ちをとがめられず、その霊に欺きのない人。」と歌っています。幸いな人とは、誰でもないダビデ自身だったのです。彼は自分の罪を隠していた時は、良心が痛んで苦しかったと言っています。それはただ心が傷んだというので終わっておらず、「昼も夜も御手は私の上に重く」(4 節) と、良心が痛んだのは、神の御手が自分の上にあったからだと告白しているのです。神様が、私の良心が痛むように働きかけてくださったのだと理解したのです。

世の中には、人を傷つけ、悪事を働いても、良心が全く傷まないという人が現実にあります。かえって人が傷ついたりするのをゲーム感覚で楽しんでいるような人もいます。必ずしも、悪いことをした人が皆良心が痛むかと言えばそうではありません。聖書ではそういう心を「腐った良心」と呼んでいます。

ダビデは、自分の良心が痛んで苦しかったことを、神様が自分に御手を伸ばして下さって、罪を認識することができた、悔い改めのチャンスを与えてくださったと、神に感謝をささげているのです。良心が痛むということは神の恵みなのです。

ダビデは自分の罪がわかっていたかもしれませんがそれを隠していました。しかし神様はそれをお許しにはならなかったのです。実は、律法によれば、罪を犯し

た者は、悔い改めのいけにえを捧げ、祭司に赦しの宣言をしてもらいます。しかし、殺人と姦淫の罪は、悔い改めのチャンスも与えられず、その場で石打ちの刑(死刑)に処せられるのです。ダビデはまさに、殺人と姦淫の罪、赦されない罪を犯したのです。王の立場どころか、自分の命さえも危うかったのです。ところが、彼は悔い改め、赦されたのです。何故でしょうか。

「ダビデも、行いがなくても神に義と認められた人の幸いを、こう言っています。『不法を赦され、罪を覆われた人は幸いである。主に罪をとがめられない人は幸いである。』」(ローマ 4:6-8)

彼の罪は、なんとイエス様の十字架によって赦されたのです。ローマ 4 章を読むと、アブラハムは彼の時代から 2000 年後の十字架によって、私たちは今から 2000 年前の十字架によって、罪が赦されています。時を超えて全人類の罪をイエス様は十字架で負ってくださったのです。だから、イエス様のことを知らないダビデにも、信仰によって赦されるという恵みが注がれたのです。

ダビデの生涯を見ると、この悔い改めの前と後では、全く違います。それ以前は自分の力で事態を変えようと策を講じたこともありましたが、(サムエル上 21 章)しかし、この悔い改め以降は、命の危険を何度も経験しましたが、常に主に信頼する姿勢を崩しませんでした。それほどに、罪赦された喜びは大きかったのです。

「神に従う人よ、主によって喜び躍れ。すべて心の正しい人よ、喜びの声をあげよ。」(11 節)

ダビデは正しい人も心がまっすぐな人もいないということは知っていました。では誰のことを言っているのでしょうか。ハレルヤ！ダビデを含め、主を信じる私たちです。もちろん私たちは正しくもないし、罪にまみれた者ですが、神はそんな私たちを義(正しい)と認めてくださるというのです。神の愛が変わらないから、この約束も変わりません。

そして今、私たちには聖霊が与えられています。

この聖霊は、「その方が来れば、罪について、義について、また裁きについて、世の誤りを明らかにする。」(ヨハネ 16:8) お方です。

聖霊は私たちを導き、罪を示し、悔い改めにと導かれるのです。心が痛む、それは大きな恵みなのです。なぜなら、聖霊が内で私たちを促して下さっているからです。主の御声に従い、主の前に出て悔い改めるなら、イエス様の十字架のゆえに必ず赦されるのです。ダビデと同じように、赦されるはずのない罪人の私のために、神の子イエス様が、私の罪を全て十字架で負ってくださったのです。罪が赦されていることを感謝し、私たちもこの喜びのゆえに神を心いっぱい賛美し、主を喜びましょう。